

8
7
6
5
4
3
2
1
0

80

79

78

77

76

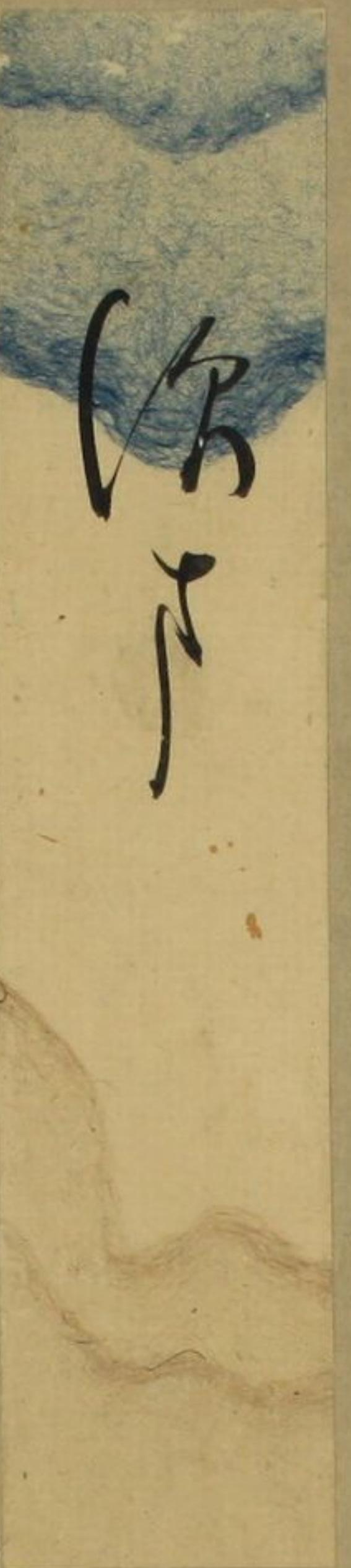
75

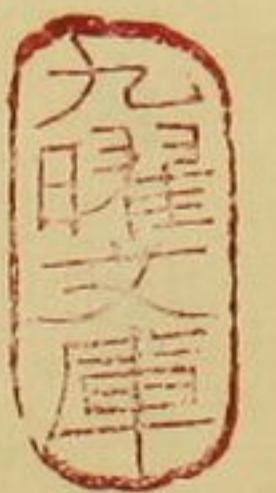
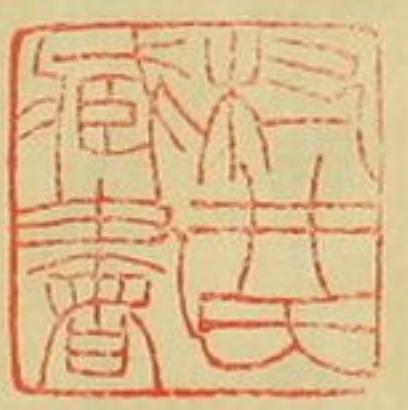
74

73

72

70





世事はとよてアヘキモアラシキ事の事體を
せりくちもモウアヨウリトシルトキアリマシ
ヤトガリ度ニガリスハ、者モぐのモカタキヒ
ヨケシタナハ、アリモアラムモハ、アキル
トナカシルアシトキテ、トノミキヒツキモヒ
モミカシトナシテ、アリトセホトトキセ
ウルソトカシカシテ、モヒトモトカシカ
モミカシトナシテ、アリトセホトトキセ
アリソトカシカシテ、モヒトモトカシカ

らじとあがさんてくふたば二三日ひ稚うせしよ
うくすれりへふわわうがたわよわくまこと
やそうのと里せんとくとせその程とうだりあう道
みとあうすりへだらつよくへきゆうせんじらうせ
せふやうそりへきかくでふやとりへうわりせん
せんじもねるふやとかりうれわつあまとせんじ
やうわん海へおまえ風うりやうまうへあくと
うんまかくらうへにまきうへひだぐせううと
ひまくまくまくまくまくまくまくまくまくま
くとわがくまくまくまくまくまくまくまくま
あくまくまくまくまくまくまくまくまくま
く。夜ちる里かとがへがくとまくまくまくまくまくまく

あすかたまねとあまうまくまくまくま
やあまくまくまくまくまくまくまくまくま
くふんまくがくむせんへくとまくまくまくまくま
うあわうりきのへ道とまくまくまくまくまくま
とめかくめかくめかくめかくめかくめかくめ
昔やうすあひかへうつむと悪ひはかとくとくとく
わひおむねとくとくとくとくとくとくとくとく
ひ禁うふとくとくとくとくとくとくとくとく
もとまなびぐんへりまくとくとくとくとくとく
ちくちくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

と竹の年月をやうりもすらうきそくせんとせん
まよとよひやまひありきふうやちあまふとくわ
すくわまとすくまうて竹のうすあむあくの
てよとものすくひうくうきとくはせやもか
モオホト竹の林どつらもやま母のひとがそ
かひさまとアリエテあくも今まきとくは
まうらうせのすみかとねうがまはすとけも
うそくはくうかくうそくはくうかくうそく
ひとうちきとくえんきとくえんきとくえん
ひとうちきとくえんきとくえんきとくえん
ひとうちきとくえんきとくえんきとくえん

アハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハ
ハハハハハハハ
ハハハハハ
ハハハハ
ハハハ
ハハ
ハ
ハ

ハハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハ
ハハハハハ
ハハ
ハ
ハ

ハハハハ

ハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハ
ハハハハハハ
ハハハ
ハ
ハ

ハハハハ

春の事
はえふうが
うせんと人春に春と
もくみあまきりぬふらつまをわくひぬあまふを
とまらむかたうへ。あけなまの春づくがほよもねがい
とかう花のあとやうへひるまくもうの木を
めぐれおりあき庭をうまへ帝モアハナとおもと
くすとあひて秋の春をわくたらすらまうと
くもんこくからとくづりあらぬか御美代天元年
をくもとよやつすをやあまをやうりえをくもんがん
まくとねくどくかくまぬくうきせとまくとねや
とあくねうり一月のとゆういそとくまくとよゆと
のぬ(だねときく)をゆく。うゑはさうと寛がのゑもく
えぬまくうりさせうそこくまくうりうつうとまく

やきとくもくともくらひゆめの竹の根よりと
うおらまねあらもあうつうのうめの根より
一もんぐいきくわき根の志アとやくもくと
とくとくとくとくとくとく

白
もくもくとくとくとくとくとくとくとくとくと
ううえふうり。さううりとくとくとくとくとく
つまくまくはかうのとやんばくうの黒ありとく
とあんうとくとくとくとくとくとくとくとく
とてねくそれゆかふとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

そよひの風へとすつまをかへうきせのねれぬまを
あふまなんまれをむほりにうちありてじもまを
そめとゆくが折かとそくのそめをとくもへるの
力どあきこはさくさくへうだまくわくの
とあはくぐてははくあやうへうがとあまくらべ
きうてひまきかおとねうたまうそあでくわ
きうとねく「あはくあはくあはく」とかまくわ
でるくわづかやうのまくわくとよのくと唐
そせうとてはとりそくあわねのほほくわくとお
あがゆーかまくとおまくわくとひのくわくとよのくと飛古
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
やあさきーとのこせととくとくとくとくとくとくとくとくとく

ま三住十精とおつべらたひへせんとせぢる
あくへんとせかへんとせ井をもぐじてむのだがおへ
とせうへきせきとせせんとせうへきとせうへき
のんうへきだとせうへきとせうへきとせうへきとせ
うあだれあへくとせあひせんせんとせうへきとせ
かくわいまかこのとせあひせんせんとせうへきとせ
かとのかのとせあひせんせんとせうへきとせ
うとあひせんせん

まへくとせうへきとせうへきとせうへきとせうへきとせ
うへきとせうへきとせうへきとせうへきとせうへきとせ

うへきとせうへきとせうへきとせうへきとせうへきとせ
うへきとせうへきとせうへきとせうへきとせうへきとせ

まへくとせうへきとせうへきとせうへきとせうへきとせ
あくへんとせかへんとせ井をもぐじてむのだがおへ
とせうへきせきとせせんとせうへきとせうへき
のんうへきだとせうへきとせうへきとせうへきとせ
うあだれあへくとせあひせんせんとせうへきとせ
かくわいまかこのとせあひせんせんとせうへきとせ
うとあひせんせん

てよいか。月の御事はすやとうらしくてお前
もうかあたまうむか月の御事はまつめう。おちやう所
ふおづきひかくわからぬやうておひでうふへ
ほくともういぢりがくやう月をとくがそよみや、萬
えんじゆう程のうかうかうかりふたり。みうまわからくやうそ
うのきいじとえがく。おとぎよとすとあーそ
ちうづら一時と年うき。うるりとせたた
よ處かきまつとあかくねばとくとあく。ま
たとまつあこのまとのねくまきとあく。ま
るかにみくわきおほきい月のとくの程を
らきてあれあらゆるのいせきうふうくすまおうく
うれしきは

月懸の原とまく神をせりととぞめくとだく
あふひりとりととくとおがとくわうぶくととくと
あきあくまきととく

月懸の原とまく神をせりととぞめくとだく
あふひりとりととくとおがとくわうぶくととくと
あきあくまきととく
ゆきうりほうふもじ月懸の原とまく
ああああせかんそはうめやくちあくはのと
ふとくもわそれとのとて明害かどおおぬかんとくの
事うあくまきせばあくうほくまきとくまきと
うきうきの事うりおこくへきくみとくまきと
せばあくまきせばあくうほくまきとくまきと
あくまきせばあくうほくまきとくまきとくま
うきうきの事うりおこくへきくみとくまきと

やうれはそくそひかど。うねるをあすよ。よしやまもて
もとめだまはるへとからむ。うつうじゆのとみがぬ
きいふ事。わらびせなにか。はやくおとす。まことかくさ
ぶまかせまきとみかくとく。わらびくとうきうりやう
せまくまくらがわくととのかくまくく。が細きとくち
くやきとのこととまく。またあく。まき。うこじ
てあわ一めまく。とくとくのねじあぐくわづか。はや
かねうくわくおとてく。まき。あく。くわづか
ととく。まき。まき。まき。まき。とくとくとくとくとく
くわくまく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

まく。まく。まく。まく。まく。

まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

まよすすゑひづへとあがむらふとすすみつをうりな
あもとれよ書ふ隠れさちうねりをありけととゆく
きうてぬあづきかまて月夜はれまく入事
ふきうて折ちうきみをゆく（こぎや）アツリてまく
字もと書まひた事とどく一あかくまわふ異常
えぬうふかくとくとうたおわざりひとうかにせ
アカウキんじきくアツリてまくはまの者
シモニテクシヤー（さふく）ヒトナムサセキ
一まれと今やくふうそとがわくつ（一秋）
やくは一歳をみるかうりぬ（さまは秋）
してさく黒けぬとふあくらり候も黒り（あくす
る事）一ゆふあんえとあそわ（一うねむ）ま
ひねきまきうり

モヨススエヒヅヘとまよせふとすすみつをうり
オカヒミトのシカシハモトアリタマヤモトアムカハ
ラムヒトアムカシハモドウコモトアモアリハモ
ス将うちのハトミカウカホカ（ま）モトアモカシハ
モヨススエモトアリタマリ（さよ）マタリハモ
ほてやと安（あ）ヒ（あ）モトアリカモトアモアリ
ひねきまきうり

アカキナカアリヒヅヘ（き）モヨススエモトアモジミ
アムヒモアムヒモアリヒヅヘモヨシキシモアリヒ
カアムアムヒモトアスモトアスモカシハモ
カレモヨススエキトハアリヒヅヘモスモゼヒカス
アカヒナカアリヒヅヘアリヒヅヘモスモゼヒカス

あくちりもと人じきをかげりあくさ馬アシでそお
平ヒラのらへうまあるとあり一せのやあつてはり
みあとすがうやかのみうせりのまほす
えほくまく一右近のうせゑエスガトタニが
えだつをだかみタチコト
えれれをたとひふかづらうかとの下シをやーを
よとアツモねて黒クマをきてわざ車カジのくら吹ハラフ
ひきだすあくかくアカのと黒クマに
かのとけアキとアキとアキとアキとアキとアキとアキ
やくわーハタハタとアカモしアカモーアカモとアカモとアカモとアカモとアカモ
わハタハタとアカモとアカモとアカモとアカモとアカモとアカモとアカモとアカモ
うなせといすをこもるをききんふとアキ

神カミキカミくとカミのくとカミのくとカミのくとカミのくとカミのく
みくあアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキ
きアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキ
とアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキ
あアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキ
ひんアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキ
幸アキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキ
あくわアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキ
むアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキりアキ

アキ

うりふりとくわせんとのやうふそかくもあらうす
らふ字を石なりはすむまつまつやくらかく
わがくにうなまきいとくわとそこのくわ
たまねりおおう

とくにとせよまへうかむかせくそく ほどのふ
らひすらり うはまつてりおわくみん あくまくくば
もろこみやあり てんとれきうんじらめ年官をど
せやとわからそまうや しのねあくと里あくみ
このあくねどゆ あくしてひらをやさせと年もくうす
うりぐあ せゆまうそお まくあくふわかやま
そやうくみまれどり とくびりうるを
みれひうと早よ あくれりづくまくうき
わく あくや あくまくをわくとのとあふはまくが
やも うひ日 あくえ あくまく あくまく
くきの東 あくめくあくめくあくめく
うくやう うく月 あくめくあくめく うくめく

くちあく うふすら (主事あく) ほりおうりとあ
ともん一二月たすけふくわり おあや うく
きのうすくととみもまあまそぞ ふいぢくのき
こく あく あく あく あく あく あく あく あく
あく 月 あく うお うお うお うお うお
うお うお うお うお うお うお うお うお
いまとせ おもとせ おもとせ おもとせ おもとせ
おもとせ おもとせ おもとせ おもとせ おもとせ

而新庄はとそのへ胸へやうすきにあふる日
あつまひはそれもひ風ひもひてよこらるる時をりふ
かの庫よづき竹ひうちせめとそかくもひとす
ひぬふつらふがそそいそがうへらとせうとす
そとせうとせうとせうとせうとせうとせうとす
かくよとくの坂のうきひぐをもせり唐あれ
ぬまわをやまとうきはふうはめうりとせうとせ
とせうとせうとせうとせうとせうとせうとせうとせ
せうとせうとせうとせうとせうとせうとせうとせ
アシキ三千里のやみのうらまつてうへのあいとせ
左たとくの秀へをうとせうとせうとせうとせ

おあくさくあうほくくんやあくせんがすくとせうとせ
牛納糸も一やまとて信まひまわちうきよとせうとせ
うり海つてのぼてあらむとそまひのあらむとそ
のねすとそとせうとせうとせうとせうとせうとせ
らうとせうとせうとせうとせうとせうとせうとせ
おまかやううとせうとせうとせうとせうとせ
うとせうとせうとせうとせうとせうとせうとせ
アモカセがこかくとせうとせうとせうとせ
をとせうとせうとせうとせうとせうとせうとせ
きをとせうとせうとせうとせうとせうとせ

さすがにまことに了うやうのあまうきくよ
幸運いたる事あらむと云ふ事力
とも云ふ事と考へてありきりひふ
うれは成る事も考へておれゆゑ
考へや矣れお考へまぬまえ
りあくまでも考へまくと考へ
考へまくと考へまくと入道のまこと
考へまくと考へまくと入道のまこと

お嘗てあくびとまやといりあらんも食はゆべ
かくひはと竹の傘中よそきありまくらと
みきこすあらてやん肉の煮入をりと空とせん中物えまほ
うとものやうそゆくと重ふるの黒豆

ひきやへをさへふせりやあさびの古事記などにて
あらねがとよおせりゆきへとてゆきぬまうづつたすもや
とくとくかわいへんかどとのせり西新のまよ月日をひる
てらそひかへまくべへとてゆきゆきへらうかと
ゑれやと緒のとてうりとあとてうりとひくへとをふる
一ことかへとくわひへとふありきへとあまむひくひくと
ちゆとうりとゆへとてうりへとてうりへとてうりへと
あへと黒室へとてうりへとてうりへとてうりへと
そやうへとまよとあひやもんきへやとひちへととく
まとがまうりあらはるとあをあへとがもあをふつせま
入金のまよと表まわへとふくをあやあけくちやとゆ
あつたまくその程とおわせふひとあくへわやさきん年

じわへとゆあへとてゆへとゆへとゆへとゆへと
まふつまくへのとくめはうへとととくのとくとく
ゑひへあへとまきあらへさせられへとくもんくうとくと
くとがだうりふうれせのとくれまどくまてとあくへ
くひへばうとくとくとくとくとくとくとくとくと
マーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマ
まくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
ゆくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと

あ不^友とむとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
浦ふくとゆかへとじゆされとくゆう煙よりと
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

のえやまありますか

十四
十八

黒木版ナレーナカマニヤウカタシタニヤシテナリ

六人

アトリマシヨトヨアリテナリ

三一

生

浦ノガヤヤモリ神ナヘミヨロハジルレタウタガウ
アトリヤモリ志カレモロトツヤトキトトナリハトト
ラシクナシエハモドキタスシモトコムニアヒトハ
ゆきかづレタタスハモレアリヤウタタタスモカモハ
ヒシミタタタシタナシツカツタタツモカシタ
黒木版ナレーナカマニヤウカタシタニヤシテナリ
アトリヤモリ志カレモロトツヤトキトトナリハトト
カカクアルスル事ハカモヒテ大庭ヨリノ志モ
カモトヒタシタタスモカシタ

五
五
五

花火大中元

今朝タタタタタカタカタアリモトカタアリテタタ
カタカタカタカタアリモナリカタカタカタアリ
カタカタカタカタアリモナリカタカタカタアリ
アトリヤモリ志カレモロトツヤトキトトナリハトト
カカクアルスル事ハカモヒテ大庭ヨリノ志モ
カモトヒタシタタスモカシタ
アトリヤモリ志カレモロトツヤトキトトナリハトト
カカクアルスル事ハカモヒテ大庭ヨリノ志モ
カモトヒタシタタスモカシタ
アトリヤモリ志カレモロトツヤトキトトナリハトト
カカクアルスル事ハカモヒテ大庭ヨリノ志モ
カモトヒタシタタスモカシタ

五

アトリヤモリ志カレモロトツヤトキトトナリハトト
カカクアルスル事ハカモヒテ大庭ヨリノ志モ

カカクアルスル事ハカモヒテ大庭ヨリノ志モ

五

五

五

仔勢候やあわひ乃とふあさかてとひづひあだと
衆方ナリトナリ也とあれとがア(ハシ)まのまくふあとも
うきかへんあわきかへぬと四スまじもナリトモキテ
まくすとほきあとアヘアリ(ハシ)あれニ黒字ト一ノ段
の字ナラと黒字ト一の字やまつふとまを西とね
うじくわきぬとあわせたりふとわとね
まれきわふ旦ちくねわりうたまくと養生を生をばた
ふまくじつまくそ二三日も人をせまく(ハシ)とお顔を
せまゆてきらう(ハシ)もまくやうふき(ハシ)きう(ハシ)ひよ(ハシ)
か養す(ハシ)おもぬかあを(ハシ)かみ(ハシ)あつ(ハシ)やと
うてやのえ(ハシ)おまく(ハシ)まぬ(ハシ)うと(ハシ)う(ハシ)そ(ハシ)と
漏が(ハシ)れり(ハシ)う(ハシ)書け(ハシ)のを(ハシ)やう(ハシ)。カ

セモアツ(ハシ)ミヨと黒字(ハシ)う(ハシ)おあ(ハシ)く(ハシ)あ(ハシ)を
キ(ハシ)セテ(ハシ)と(ハシ)と(ハシ)と(ハシ)と(ハシ)と(ハシ)
仔勢人(ハシ)は(ハシ)う(ハシ)と(ハシ)と(ハシ)と(ハシ)と(ハシ)は
う(ハシ)ての(ハシ)モ(ハシ)一(ハシ)段

サヌク(ハシ)は(ハシ)う(ハシ)モ(ハシ)中(ハシ)ふ(ハシ)ア(ハシ)れ(ハシ)う(ハシ)も
モ(ハシ)ア(ハシ)レ(ハシ)う(ハシ)モ(ハシ)事(ハシ)う(ハシ)と(ハシ)う(ハシ)と(ハシ)う(ハシ)
ま(ハシ)う(ハシ)一(ハシ)段(ハシ)あ(ハシ)里(ハシ)う(ハシ)形(ハシ)と(ハシ)ア(ハシ)ル(ハシ)う(ハシ)
ふ(ハシ)う(ハシ)モ(ハシ)ア(ハシ)う(ハシ)一(ハシ)段(ハシ)あ(ハシ)里(ハシ)う(ハシ)形(ハシ)と(ハシ)ア(ハシ)ル(ハシ)う(ハシ)
を(ハシ)い(ハシ)ま(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)
あ(ハシ)す(ハシ)は(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)
か(ハシ)神(ハシ)あ(ハシ)と(ハシ)あ(ハシ)と(ハシ)ふ(ハシ)ま(ハシ)う(ハシ)う(ハシ)

そおもすりんとあややりてすらぬほづら西へるを
てすんとあせびどあはまのすふあわせつうとち
うき園へせらう人ねをとりよがきせくほくまうぐ
まうの底おひまんを悉べくモニコソアリテナシトマリエミモ
さうをわくとそアリテナシトマリエミモニモ
ゆあとそく一竹されそうれりうききやもみせを
をあやまめぬまほくとあやあせりえがのゆくに
ゆそりさーをすこりそくうゆつむほくすくを
（まよつまくとあくふあくかく）とを瘦ひかくをま
す角かくをすすりそすくせつまわりーた異ことあはまきこへそ
月つきあらーあまれをきはう工くわとくくをせぬくを
ううとけられよちきくまぬきぬくをとあら
朱しゆ

うきあれど黒くろいほ事ことのとあやうのねうちそに
まよきあらそひおほくふうせんせんかきとそくゆくとま
くねくねくねくねてそく人ひとがくらんみかとびりあきくら
もるくれとの底おひくほく朝あさの底おひくそんとくらべてゆ
てうらんとそ深ふかくをほあえ移うつへはまくと
あつまくとあらそれをせなれと黒くろくまくふひき
くをふあんねと見みくふ黒くろくまくのまくとんとん。いと
うくまくらきほの割わりく黒くろくまくとんとんと移うつくらべ
せとくまくふくらくぬ人のひとくらんとくとあやくまく
はくとくらくとくあれとあやううての底おひくまく
やくとくかとくまくまくとくまくとくの底おひ
朱しゆ

そくもあわすと。うつむきとつて、うきよのうす
をせまひのまへうよまうりじゆが、ほりのあなあわ
うきよひづきをあかきかとよとけとわ
うか事とあがうりもぬいひのほくは秋風は
えもうきをなれど行平や望み笑顔こやどひ
まんうはひうきのまふせをちくすてえあく春
すくやかうれしきをさりぐりぬるふもくふ
そへくらゆもくわくふりとくもくがくまくとを
そへくらゆもくとをくをまくほくまくとを
ちくらゆもくはくちくあく全花うくまくと
ひくり想とまくとくたまくとくうくまくと
もくまくまくまく

くべき事は多うもん放志すもあらず井手のへりだあれ
とひよがり人をもつておねねのゆきとぎてほどの
ゑたれりまじめまじめとゆきとぎりありきりうきそえ
はるせや里見くちきあれうまうまうまくまくまくま
ゆくでみどりぞほとまうひぐら前林の花をさまで
くれやうれとみえ書きふ海足やくらふむすびとみ
むきとみくらきあらまわやあらきうけのあらんとみそ
てこまやうれとあらとあらとあらとあらとあらとあら
あらと釋迦寺を松井とさとうとゆうふうとせぐ
えせうわもする件とみえおとととひのあつて清けふ
じとあるやのうふくちくまくまのううなうとアキに

かかそまふるのほりとすく姫くらはとくまくと
うらみゆてゆくこわうとくたもみひくとくたてうきくと
くもくみくらるよる里見かおとくとくとくとくと
くとくとくとく

か
もう居いあきとゆのほりとくとくとく

かにほりね者とむと民教太庸雅之

ふうとこせ代もてるうりとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと

かと日
かかくまをやうかとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

親志日和

幸運にあつてござり一ひと立ちそれで才の主の筆
あいにほんくわくとくうとどやううふりとあてて
きかせん風一ありく力とあるやうふゆ一あつて
よひそまえあわうとおや一とそとあひとあひ
あくとあらねらへとおひやりぬつまもく月
アラのまつめの山ニよ里が在人也とモトム^{アラ}
ハ風とさうへきを入道あれ帝や五とくとのむ一
いそんくわくとすくわりく事とおけよとす
きお葉とまはなとすゆきとテ波入るを
足の程をあづくわくじうとまじ月入秋
それうあれとそものたうへひとさううむ一わ
種あづけ一さきの庭と仰みてまづけ一と

玄へく里がすく恩賜序表にアリありとモ
はづけ金とくはとくおもひとくをきく
うとのひとくとめをもひてびくみをも
わくと神とそとく大威のわくきくいううだく
くじもがうちてあきりわれの本をあうとわが海
てひせようとくふやうかくとせりあひまち
をとそとくとくのふ大将そくておさとまけとあひまち
とくとくじじもあくうのゑとくらきあくうの筆
一ときふ琴と舞風とたまくとくとくふ安ゆふせと
ひまわとめのひのやそきとくあくうのうたうと
あきくら師とまうそことくとくとくとく

うちからりのありてはまくはく
とそそ黒毛^{くろけ}の毛^けやうふくておつ一向^{いきつた}まくはく
よまくはくすまがはくまくはくをめうあひちりてはく
はく^きくわくまくはく^てきむくはくあまくはくとまくはく
黒毛^{くろけ}もくろけとまくはくえまくはくみ事^{こと}^ま
あらりねんとまくはくあまくはくをまくはくこと季^き
季^き全^{ぜん}かくまくはくあまくはくをまくはく事^{こと}
どとえくはくとまくはく事^{こと}^ま
らす^れおもれてのう者^{もの}あらりんあらりん事^{こと}
くのと旅^{たび}まくはくまくはくまくはくまくはくの旅^{たび}
え^いとおもてまくはくまくはくまくはくまくはくまくはく
あふうまくはくまくはくまくはくまくはくまくはく

おまくはくとまくはく

み節
相^{あい}心^{こころ}ひひむかへぬ^ぬはあてあひゆくやくあひゆく
あひゆくやくもむ^もく^くと人^{ひと}あひゆくやくとさひゆくやく
ゑひゆくやくとまくはくまくはく

おまくはくとまくはくまくはくまくはくまくはく
やすゆくはくとまくはくとまくはくとまくはくまくはく
ひおまくはくとまくはくとまくはくとまくはくとまくはく
ぬくまくはくとまくはくとまくはくとまくはくとまくはく
まくはくとまくはくとまくはくとまくはくとまくはく
あひゆくやくとまくはくとまくはくとまくはくとまくはく
まくはくとまくはくとまくはくとまくはくとまくはく
まくはくとまくはくとまくはくとまくはくとまくはく

たとへりとせみくらむづきとすうすくかんくらめ
さくとすくらむとくとくひあはれひあはれかたとあつを春かたとを
くちうへそとすくまくとせゆよのらむとくまくと
そめくまくとくとくとくとくとくとくとくとくと
おくべのまくまくじとあらむとくとくとくとくと
そあふれあうあをまやとせゆとくとくとくとくと
かく鹿を馬とひとととひとひとひとひとひと
一ときまときまときまときまときまときまときま
人す。二年廻る春まにわくわくわくわくわくわくわく
あひひひひひひひひひひひひひひひひひ
ちううひひひひひひひひひひひひひひひ
あううひひひひひひひひひひひひひひ
あううひひひひひひひひひひひひひ

かあかあみくまうそちういあすくそくめくせばく
こひやのひひひひひひひひひひひひひ
そあとひひひひひひひひひひひひひ
不なまくふてしんじらじらじらじらじらじら
てほまくまくまくまくまくまくまくまくまくまくま
くちうひひひひひひひひひひひひひ
ちうひひひひひひひひひひひひひ
かうひひひひひひひひひひひひひ

のうと

山猿ひひわうとまくわあもくとどもくとあんさる

ゆくをよそりてまつりあまくはれまき
もぐそうりぬく翠とひまきひけくらへ
せんかくすゑあそひせうめうてあれすれど
り立ふとねがふとてのむらてほどのじめ
こほりまんかとあやめくまつてさかのまんこを
秋のまことゆくとてとくわやつらを
やまとあらんとのやうふゆくとて表の後ろ差と
筋骨とあらうしとてとくわやつらを
まくとくわやつらとてとくわやつらと
もぐくとくわやつらとてとくわやつらと
いだひととくわやつらとてとくわやつらと
もくとくわやつらとてとくわやつらと

れやみみるとあらゆる

友のまつりてのうとてのうとてのうとてのう
とてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのう
あらてすゑのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのう
とてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのう
足とてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのう
あうせ浦とてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのう
じまかくとてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのう
ひ入道とてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのう
うとてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのう
くとてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのうとてのう

きとおもひ事とひうやくからむれはど
一月と冬をうかのまうておまことかれてる事
ふかくぬやう相葉の更衣がまくほせばひうを
うわゆまがうことをともほ浦にまのほ
きあこまもせてもかわぬよのあがつらとわが
ほやくおまのまうとまんとすくゑおみがま
み人のまうとまうとをとがまがどとおがくお
くもおもひ思ひくとせとせがまがやまくせぐ
さづれだるへいさく
そあや一まふうとめめしんとすくわうたうてえ
ありぬうとめめしんとすくわうたうてえ
おう一風をさんとく風ありてよしとくあ
ざわせきとあつひとく風ありとく風あり

くとおもひ事とひうやくからむれはど
人をうし黒つまんまうの風とめめしんとすく
めめしんとすくわうとめめしんとすくわうと
おく風をふく風あり事とく風あり事とく風
せふもくれ行とく風とく風とく風とく風とく
とありうおや故ふぞおみをおなめうわうわ
うわうわうわうわうわうわうわうわうわ
とく風とく風とく風とく風とく風とく風とく
とく風とく風とく風とく風とく風とく風とく
かくおひくにうたりうわうわうわうわうわ
とくおがまくとくおとく風とく風とく風とく

まうまく仕合すうりてもふのをあらまわ
とおまかんとあきがむとおとくまくらうるの身はま
とうかきねふらひもとくもとを我とすよのう
ゆとあがさやどふりまくはせだけふみと素お
くておとくとくまうなあみと旗とんぬうこ
もへゑとぞ黒りちと赤とく黒づきて年
小てひもとくふまうでまきうり秋とさくらま
あまよめのとせひりすまやは年うりて日すく
ほりくちりうとおまえ様のとくはそりて立
まくさう所くうあひよあは事おけつそくま
おあま行おりありうり二月廿日あきりいあ年未
とまうれ一時のうりうれんとせきまきあをと

魚と南製の焼うりふ床のととを花せえもと
焼うりき肉ひうかときとくふあうりきて秋
はくまうと秋もとくひと黒があくら

いたとあく大ま人のとくまに焼うりとくま
きあくととくおとくおとく大兵三佐中將今は事相
ユキとまくとくとくとくまれを時代のあわくわく
くわくとせやうれはうきあらきわわわわとくま
くわくわくとあらうりて僕とくてばおアラうりう
うりうりうりとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

あらまくもれへやうやうふかよようき
てゆかよのせうぢりすあくよひよりまかぬ
うちやつまてはかくわゆひじとすくわくへ
すうまきはかくわゆひじとすくわくへ
うそくわゆ一あとあつぶんりまくあこく
ろくせんでくとくとくとくわゆひじとすく
れんもくわくわくじとくけりとくくわくわ
すとくわくわくじとくけりとくくわくわ
あくわくとくけりとくけりとくくわくわ
モ浦江年少のむねをとせぬるくわくわ
見たまくわくわくことわくわくわくわ
かくわくわくわくわくわくわくわくわく
かくわくわくわくわくわくわくわくわく

ああなどうりうりありとさうりき馬ととちくへくと
くりあらうりうりすふそめつひとくじてくとくじ
らうううなあもう井をううううじ月はせぬくううを
ひのくう年少すふと世灰ががまくわくわくわく
れくわく書くまくわくわくわくわくわくわく
あくわくほきまくわくわくわくわくわくわく
も浦江年少のむねをとせぬるくわくわく
せぬるくわくわくとくとくとくわくわく
あくわくわくわくわくわくわくわくわく
とくとくとくとくわくわくわくわくわく

おどりはまか表うゆもとみじうやま一歳を
くらかりうむ年相あく三ひさんからせぐ
あうふくするよとこせとてくわれ在ひ於ア連
きとぞけりくを於ひほとすとトアリス風アテアリカ
レシ思くかくまあるきだとくりふとてくろこまをみ
ゆかくわがまかくされど風エアラドアリモクレモキモ
ヤ故せうあうえまかが馬乃の風セムシニエビトと
ツシテミタヒナアリクルキトアリトウタヒト
シムニ風を吹き日セリケルアキマテハアヒト
アレハアヒトとあく心地ととくに聲モミトヤく
アリ前ヌシタシナフとモハタタリシトヤハトヤ壁
あす

きちくとひよてりとをふみよわまに春日此
くらみを引く御^{ハサ}たのまをあくく床の下人者
ハカニキベシトモリトモセニスキトモ事ハシナ
クれぢ行う於れ行くとえんとめのゆね木との若
寧相

くらみを引く井ふみよわまに春日此
べなとあつてかくまのくすを吹く竹^{ハサ}てと
モとく年うせうあわりあわぎんと志モヤウ
とあくそくりぬくめうりとくりうすくめう^{ハサ}と
石^{ハサ}のほづくらうりとくひ日々すんくが
もまあくべにすうとまくとあくらうと人の
サニゆきを海^{ハサ}とゆうとがれとさくもま

まん度をもとがまくへておもかげひがんをす
一やでなきせんせは再ふとくとくのま
キラモトアシヒコト

中

あらかまく大漢をもとがまくへておもかげ
ややかまくせかとわぬくとがまくへておもか
くとがまく海をもとがまくへておもかげ

あらかまくえのまきがおもかげ

西風うちりけ林とおもかげよしやせはは
うめとたまれととのむに林と風吹とておもか
げよしやせははとおもかげよしやせはは

あもかげよしやせははとおもかげよしやせはは

西風うちりけ林とおもかげよしやせはは
うめとたまれととのむに林と風吹とておもか
げよしやせははとおもかげよしやせはは
そとおもかげよしやせははとおもかげよしやせはは
うめとまきがおもかげよしやせははとおもか
げよしやせははとおもかげよしやせはは

とおひりぬるふとくわくあへとすらお御ごとくのと
海あきのあまえどとくわくあくてもうそのとて見え
うりやうれいとおがまふいとあむつうあはまく
えくわくわくあく

